

立待月

がキレイ。

立待月とは、満月から2日後の月で十七夜（じゅうしちや）とも称されます。この名称は、満月の後の夜が更けるまで月が昇るのを静かに待つ風情から生まれました。立待月の姿は、夜空に静かに昇る月を待つ古の日本人の情景を思い起こさせ、月を愛でる文化の深さを物語っています。今年の8月29日は、立待月の日。18時55分に立待月が昇り始めます。コンサートを聴きながらお待ち下さい。

吉江藩主第7 第福井藩主就任松平昌親公340年記念事業

“梵”DE楽しむ 立待月観月の夕べ2026

2026.8.29 (土)

会場：旧JA鯖江北支店 駐車場
住所：鯖江市杉本町8-3-1



13:30～15:00 近松わくわく講座： 浄瑠璃『天鼓(てんこ)』を読む
～千年生きた牝狐（めぎつね）の皮を張った鼓は、恋の嵐を呼ぶぜ～

◆講師：三好修一郎 福井大学名誉教授 ◆会場：下杉本公民館

15:00～20:00 屋台・マルシェ

16:00～20:00 “梵”無料で試飲できます。

18:00～19:30 MIKAGE PROJECTコンサート

◆小雨時会場：旧JA鯖江北支店2階和室

◆花火が中止の場合の会場：立待公民館 講堂

19:15～19:20 「立待月」ライジングカウントダウン

19:00～19:30 天体望遠鏡で立待月観測会

◆申込み不要 ◆指導者 牧野晃治 氏

◆月が観測できない場合は、中止

19:45～20:00 吉江藩主松平昌親公第7代福井藩主 就任 340年記念

340発の花火打ち上げ

◆小雨決行

◆大雨強風の場合：開催を延期し、10月3日（土）に実施

(イメージ図)



〔吉江藩の成立〕
一六四五年、福井藩三代藩主・松平忠昌の逝去に伴い、その子である松平昌親公が二万五千石を分与され、ここに吉江藩が誕生しました。
注目すべき点として、浄瑠璃作家・近松門左衛門の父である杉森信義も、吉江藩の家臣であったことです。その後、昌親公は吉江藩主としてだけでなく、福井藩の五代、七代藩主も務めました。

本間貴士
二十五絃箏



佐藤公基
尺八・篠笛・お囃子



浅野祥
津軽三味線・唄



18:00~19:30

MIKAGE PROJECTコンサート

日本各地の民謡を現代の感覚で作編曲し、次世代へ繋げる

MIKAGE PROJECTは民謡を現代の感覚で再編成し、次世代へ継承する民謡再編成プロジェクト。

佐藤公基（尺八・篠笛・お囃子）、浅野祥（津軽三味線・唄）、本間貴士（二十五絃箏）の和楽器奏者3名で構成され、卓越した演奏技術と音楽アレンジ力には定評がある。

2020年12月に始動。これまで4枚のEPをリリース。

2024年4月スタートしたNHK-FM「出会いほ！みんなようび」では、OPとEDの音楽をMIKAGE PROJECTが担当し、メンバーの浅野祥が歌手の森口博子と共にMCを務めている。

本年2026年はイタリアのローマ、ポーロニアで計4公演を敢行。

4月には新潟で行われた「Art Mix Japan」への出演、5月にはドイツで行われ70万人を動員した「日本デーJAPAN-TAG」への出演を果たした。

日本の民謡に軸足を置き、全世界へ活動の幅を展開し続けている彼らに注目が集まっている。

また、「MIKAGE PROJECTの浅野祥」は、歌舞伎俳優中村壱太郎・尾上右近とともに、歌舞伎と伝統音楽が融合した「ART歌舞伎」にも参加している。

